

# 平成29年度 ひょうごアシステック研究会第3回勉強会（ご案内）

テーマ 「スマート社会のプロダクトデザイン～デジタルヒューマン技術  
を活用したIoTによるものづくり」

- ◆ 日時 平成29年9月28日（木）14:00～16:00（受付 13:30～）
- ◆ 場所 兵庫県立工業技術センター・技術交流館セミナー室
- ◆ 定員 80名
- ◆ 参加費 無料

## プログラム

1. 開会（14:00～14:10）
2. イントロダクション（14:10～14:30）

「Dhaiba」を活用したランニングシューズデザイン  
兵庫県立工業技術センター生産技術部  
上席研究員 後藤 泰徳 氏

概要：兵庫県立工業技術センターでは、内閣府主導研究SIPにおいて、大学・企業とともに、スマートフォン・カメラによる足撮影画像からデジタルヒューマンDhaibaを応用して足の3次元CGモデルを生成し、その足モデルをベースにカスタムメイドのランニングシューズをデザインするシステムの研究を行っています。この中で応用しているDhaibaの活用事例としての取り組みについての紹介をします。

3. 基調講演（14:30～15:30）

デジタルヒューマンを活用したスマート社会  
～人間に合わせた社会を創るDhaiba～

国立研究開発法人 産業技術総合研究所・人間情報研究部門  
デジタルヒューマン研究グループ  
グループ長 多田 充徳 氏(博士)



概要：膨大な人間の観測データから生まれた独自のプログラムDhaibaモデルを使えば、身体の形と動きをCGとして再現し、コンピュータ上で身体と製品の適合性が予測できます。様々な製品にセンサーが搭載され、無線でネットワークにつながる時代、こうした製品とDhaibaモデルを結び、リアルタイムで情報を処理して、それぞれの人に最適な製品やサービスの提供が始まっています。ものには様々なセンサーが積まれており、こうしたセンサーデータとDhaibaを結び、それぞれの人に最適な環境やサービスをリアルタイムで提供しようと考えています。乗る人に合わせて、シートやペダルが自動調整される車、身体の中で動く筋肉の働きまで考えて、トレーニングの指示を出すスマートウォッチなど、色々な可能性を秘めたDhaibaについてご講義いただきます。

4. 質疑応答・交流会（15:30～16:00）

## 連絡先

兵庫県立福祉のまちづくり研究所内 ひょうごアシステック研究会事務局（水口・北原）  
TEL：078-925-9283 FAX：078-925-9284 E-mail：info00@assistech.hwc.or.jp

主催：ひょうごアシステック研究会  
共催：兵庫県立工業技術センター